

第6回もうひとつの住まい方推進フォーラム2010 “複合”でつなぐ地域の暮らしと福祉 2010年11月28日(日) 東洋大学(東京・文京区)

【基調講演・事例発表・鼎談】

基調講演：“複合”によって広がる新たな住まいと暮らし
小林秀樹・千葉大学工学部教授

事例発表：

- ①団地再生を活かした暮らしと福祉の複合拠点づくり
—高根台団地「つどいの家」、UR園生団地「多機能拠点(仮)」
池田徹・社会福祉法人生活クラブ
- ②地域で共に暮らすための交流の場を点から線につなぎ、
面に広げる —SANせたがや地域共生ネットワーク
—井上文・NPO法人SAHS

【第2部】“複合”で考える暮らしと福祉の拠点づくり

コーディネーター：古居みつ子・NPO法人シニアネットワークさがみ
事例報告・パネリスト：

- 露木尚文・NPO法人ほっとコミュニティえどがわ
- 中村真知子・NPO法人みんなの家
- 山田哲矢・山田屋「和のいえ 櫻井」

コメンテーター：村林正次・価値総合研究所

【第3部】拠点をつなぎ地域を結ぶ“複合”の可能性

コーディネーター：柴田範子・NPO法人「楽」
事例報告・パネリスト：

- 谷口奈保子
・NPO法人ぱれっと(渋谷区)
- 伊藤 勲
・NPO法人やまぼうし(日野市)
- 首藤秀一・南医療生協
(名古屋市)

コメンテーター：篠崎正彦
・東洋大学准教授

